

VISION

公立大学法人 長野大学ビジョン

地域の未来を創造・デザインし世界につなぐ



長野大学は、信州の学海と呼ばれる塩田の地に開学以来50年の歴史を経て、2017年（平成29年）4月上田市を設置者とし、公立大学法人長野大学が設置・運営する、公立大学として新たなスタートをきりました。

公立大学としての新たな目標を定めるため、公設民営大学としての50年の伝統の基盤である「建学の理念」と、21世紀の地域社会の発展を牽引する人材の育成を担うための指針を定めた「長野大学憲章」を踏まえ、地域の未来を構想し、創造する「高度創造・デザイン社会」の創出を目標に掲げた「長野大学ビジョン」を策定しました。

大学ビジョンは、「教育」「研究」「地域貢献」「国際交流」「大学運営」の5つの柱で構成されており、各柱のビジョン実現に向けた方針を「グランドデザイン」、具体的な取り組みを「アクションプラン」として設定しています。

長野大学は、この大学ビジョンのもと、古代から現代までの深い歴史と進取の気性を持ち、世界ともつながってきた信州上田の地で、豊かな自然環境と多様な人々の資源を生かした、世界につながる教育・研究を創造・デザインし、実践力をもつ若い力が躍動する地域の「知の拠点」を創ります。

2018年4月

公立大学法人 長野大学

大学ビジョン

教 育
VISION

1

長野大学は、高き教養と人格をもち、地域および国際社会の未来を創造・デザインし、地域とともに世界で躍動する人材を育成します。

研 究
VISION

2

長野大学は、自由な発想と高い倫理性をもって、長期的展望に立ち、地域から地球規模に至る様々な独創的かつ世界につながる研究を推進します。

地域貢献
VISION

3

長野大学は、学生の若い力が躍動し市民力と融合する活気ある地域づくりとバリアフリーの共生社会の実現を推進します。

国際交流
VISION

4

長野大学は、世界の多様な文化・思想を理解・尊重し合い、地域と世界をつなぐ教育・研究を展開し地域社会と地域産業のグローバル化に応える国際交流を推進します。

大学運営
VISION

5

長野大学は、公立大学としての使命を果たすため、教職員・学生と上田地域の人々が一丸となって、自立・進取の活力あふれる持続可能な大学づくりを進めます。

長野大学は、高き教養と人格をもち、
地域および国際社会の未来を創造・デザインし、
地域とともに世界で躍動する人材を育成します。

I. 教育

『未来を創造・デザインする地域人材の育成』

長野大学は、豊かな自然環境の信州上田の深い歴史と進取の気性をもつ多様な人びとに学び、高き教養と人格を備え、社会でリーダーシップを発揮できる高いレベルの専門性と社会的課題解決能力、実践力と応用力をもつ人材の育成をめざしています。
そのために、大学ビジョンにもとづき、教職員の多様で豊かな教育力と地域社会をフィールドとする地域の人びととの協働による教育を展開します。

グランドデザイン

1. 恵まれた地域の自然・歴史・文化に学び、新たな文化・芸術・産業や社会システムを構想し創造する活力と創造性ある地域人・国際人を育成する
2. 広い教養教育と深い専門教育によって「豊かな人間性」「高い専門性」「国際的視座」をもち、実践力を身につけた地域および国際社会の未来を構想し創造する活力と創造性ある人材を地域協働型教育により育成する

アクションプラン

1. 地域社会に貢献できる人材育成の拠点構築とそれに基づく教育の実践

- | | |
|---|--|
| (1) 教養教育の実践
・他者の意見や考えを傾聴する素直な気持ちと、物事に対する批判的思考の醸成
・直面する課題を多面的かつ新たな視点で自ら考え、判断することのできる能力の涵養
・地域に学び、新たな地域を展望する「信州上田学」の構築 | (3) 地域協働型教育の実践
・地域社会をフィールドとし、地域住民や企業、行政、教育機関、NPO 等と協働し、地域課題を発見・解決する力を養成する教育の実践 |
| (2) 専門教育の実践
・リーダーシップを発揮できる高度で確かな専門性と問題解決能力の育成
・時代の変化に対応する新たな学問領域を開拓する学部・学科・コースの新設と再編成
・より高度な専門教育を実践する大学院の設置 | (4) 教育・研究環境の整備
・キャンパスマスタープランの策定と実施による教育・研究施設と環境の充実
・教員が多様性と実践力をもち高度な教育・研究を行うための研究環境の充実 |

2. 地域の未来を創造できる人材の育成 — 「地域人材の循環システム」の構築 —

- 2-1 地域社会・産業界から求められる人材教育の実践

- | | |
|---|---|
| (1) 一人ひとりの価値観、ライフスタイルに対応した生き方を学び実践するための教育 | (3) 高齢者、子ども、障害者、社会的弱者、海外や他地域からの移住者などさまざまな人々が安心して暮らせる共生社会の実現に貢献する人材の育成 |
| (2) 社会および産業構造の変化や成長分野のビジネスなど地方産業につながる人材育成 | |

- 2-2 「地域を担う若者」の受け入れ—地域で活躍する人材を育成し地域の企業・組織に輩出する仕組みを構築

- | | |
|---|--|
| (1) 地域を担う若者の受け入れ — 学生の受け入れ —
・地域社会への関心と課題解決への志向などアドミッションポリシーに沿った学生の受け入れ
・生涯学習およびリカレント教育としての社会人の受け入れ
・長野大学の価値と魅力を伝え社会の評価を高める戦略的な広報活動
・受験生を多面的、総合的に評価する入試制度改革 | (3) 充実したキャンパスライフの実現 — 学生支援体制の充実 —
・学修支援体制の充実
・学生生活支援体制の充実
・経済支援制度・奨学金制度の充実
・スポーツ・文化など多様な課外活動の促進
・キャリアディベロップメントプログラムによる就職支援の充実 |
| (2) 地域で活躍する人材の育成 — 教育の実施体制 —
① 教育の「質」の保証
・FD 活動の推進とPDCA マネジメントサイクルによる授業内容改善
・成績評価システム及び履修体系の整備
・優秀な教員の確保と教員業績評価制度の導入 | |
| ② 地域の企業・組織と連携した課題解決型プロジェクトの推進 | |

VISION 2

長野大学は自由な発想と高い倫理性をもって、
長期的展望に立ち、地域から地球規模に至る様々な
独創的かつ世界につながる研究を推進します。

II. 研究

『長期的展望に立ち地域から世界につながる多様な独創的研究を推進』

長野大学は、地域から地球規模に至る多様な独創的研究と、地域の課題を素材とした研究を展開し、その成果を教育と地域活動と地域ならびに世界の平和のために活かします。

グランドデザイン

1. 地域を主題とした世界につながる総合的な研究を展開する
2. 教員の自由な発想に基づく長期的視野に立った研究の推進と蓄積により、世界水準の研究をめざす
3. 研究基盤を確立し、研究水準の向上を図る

アクションプラン

1. 地域を主題とする研究の深化と教育・地域活動への活用

- ・ 少子高齢・人口減少社会における社会福祉制度や、社会的インフラ整備などの課題に対応して、人々が未来にわたって安心して暮らし活躍できる社会の構築に向けた研究を促進し、教育や地域活動に活かす
- ・ 地球温暖化、エネルギー問題などに対応する循環型社会の形成や、環境・食・防災など安全な社会づくりに向け、住民の意識にも訴える研究を深化させ、教育・地域活動に活かす
- ・ グローバル化、高度情報化、成熟化の進展に対応する産業・雇用・地域社会構造の変革に対する研究を深化させ、教育・地域活動に活かす
- ・ 地域産業の振興や新たな産業の創出に寄与する
- ・ 研究水準の高度化に向けて、大学院・研究所を設置する
- ・ 「信州上田学」を創出し、確立する
- ・ 教員の研究成果の管理体制を整備し、研究シーズを社会に効果的に発信することにより、地域社会と地域産業の振興に結びつける

2. 多様な研究の蓄積による研究水準の向上

- ・ 世界の研究を吸収して先端的な地域課題解決型研究を推進し、地域から世界に成果を発信する
- ・ 日本の中央に立地する利を生かし、日本各地の大学・研究機関との連携、上田市内や長野県内の高等教育機関との連携により、地域から世界につながる研究教育の拠点をめざす

3. 研究環境の整備と研究支援体制の強化

- ・ サバティカルなどの研修制度の充実と特色ある研究への助成制度の充実などによる研究支援体制を強化する
- ・ 研究資金の自立的獲得を支援し、競争的外部資金の獲得率を向上させる
- ・ 教員が研究意欲を高め互いに切磋琢磨する環境と風土を醸成する

4. コンプライアンスの徹底

- ・ 公的研究費の管理・監査のガイドラインに係るコンプライアンスの徹底を図る

5. 知的財産の重視

- ・ 知的財産（著作権・特許・実用新案・意匠デザイン・商標）を重視するとともに「知的創造サイクル」のシステムを構築する
- ・ 知的財産に関する規程を整備する

VISION 3

長野大学は、学生の若い力が躍動し、市民力と融合する活気ある地域づくりと、バリアフリーの共生社会の実現を推進します。

III. 地域貢献

『学生の若い力が躍動し、市民の力と融合する 活気ある地域づくりと、バリアフリーの共生社会を実現』

長野大学は、その研究成果と学生の若い力を活かし率先して子どもからお年寄りまで元気で暮らす安全・安心な社会と人

地域が抱える課題に取り組み、
づくりに、積極的に参画していきます。

グランドデザイン

1. 自立・自律した地域社会を形成するための地域自治の在り方を、
すことができる社会と人づくりを提案し、障害者、社会的弱者、移
2. 大学がもつ資源を活かし地域と協働することにより、雇用創出
域の「シンクタンク」としての役割を果たす
3. 市民のリカレント教育や生涯学習を積極的に支援し地域の教育

地域と共に考え実践し、子どもからお年寄りまで元気に暮ら
住者などさまざまな人々が共生する社会の実現に参画します
や若者定着など地域が抱える課題解決に率先して取り組み地

力の向上に貢献する

アクションプラン

1. 大学の教育と研究を活かした地域づくりの拠点として「地
域づくり総合センター」を設置し「地域課題の解決シス
テム」を構築する

1-1 地域づくり総合センターの設置

- (1)大学の地域貢献活動の総合窓口としての体制を確立する
- (2)地域ニーズの掘り起こし、大学シーズとのマッチングを図る
- (3)「産学官金連携」により、次の事業を推進する
 - ・地域の総合的課題の解決に向けたプロジェクトの推進
 - ・学生による地域活動やボランティア活動の推進
 - ・「起業」を目指す人材の育成と支援の推進
 - ・「まちなかキャンパスうえだ」を活用した他大学や商店街との連携の推進

1-2 産業の振興と人材育成の推進

- (1)各団体と連携し、産業振興や社会人教育など人材育成の共同事業に積極
的に取り組む
- (2)地域産業の振興や創業支援により仕事と雇用を創出し、若者の定着を推
進する

2. 自治体等の政策や課題に関する解決策の提言

3. 社会人や高校生等を対象とした地域人材育成プログラムの
構築と地域教育力向上への貢献

- ・公開講座や市民開放授業を通じて教育研究活動等を公開する
- ・高大連携の強化とともに、小学校・中学校の総合学習等を協働で実施する
- ・障害学生支援の成果を活用し、地域における障害者支援を展開する

IV. 国際交流

『世界の多様な文化・思想を理解・尊重し合い、地域と世界をつなぐ教育・
研究の展開と地域産業のグローバル化に促える国際交流の推進』

長野大学は、グローバル社会で活躍できる人材を育成し、地域社会の国際化に貢献します。

グランドデザイン

1. グローバル化社会に求められる人材 育成と、地域社会と地域産業の国際化に寄与する

アクションプラン

1. 国際教養教育の強化に向けた語学教 育、異文化理解・国際理解教育の充実
2. 世界をめざす特色ある教育研究分野 をもち、地域社会と地域産業の国際化に寄与する海外の大学・研究機関の調
査と新たな学術交流協定の締結
3. 学生の海外研修・留学を推進するとともに、留学生に対する支援体制の充実
4. 海外の人材ニーズを把握し、世界で 活躍する活気ある若者を地域企業・組織に輩出するシステムの構築

VISION 4

長野大学は、世界の多様な文化・思想を理解・
尊重し合い、地域と世界をつなぐ教育・
研究を展開し地域社会と地域産業の
グローバル化に促える国際交流を推進します。

VISION 5

長野大学は、公立大学としての使命を果たすため、教職員・学生と上田地域の人々が一丸となって、自立・進取の活力あふれる持続可能な大学づくりを進めます。

V. 大学運営

『教職員・学生・上田地域の人々と行政が一丸となった自立・進取の活力あふれる持続可能な大学づくり』

グローバル化、少子高齢化、産業の成熟化など社会の急激な変化の中で公立大学は地域の課題に応じていく責務を負っています。そのために、教職員・学生及び設置主体である上田市が大学ビジョンの達成に向けて社会の変化に柔軟に対応する自立・進取の大学運営を推進します。

グランドデザイン

1. 公立大学の使命を果たすためのガバナンス強化などにより、大学運営体制を確立する
2. 経営基盤の強化により、安定した活力あふれる持続可能な弾力的大学運営を行う
3. 時代や社会の未来を見据えた新たな学部や研究所・大学院の設置等により、先進的教育研究機関をめざして取り組む
4. 大学の価値・魅力・社会的評価（ブランド力）の向上をめざして、戦略的な広報活動を展開する

アクションプラン

1. 公立大学としての大学運営体制の確立

- ・教職員・学生及び行政が大学ビジョンを共有し、常に意識改革に努め活力あふれる持続可能な大学づくりを推進する
- ・理事長、学長のリーダーシップによる戦略的組織運営を行う
- ・大学経営の基盤となる情報を収集し調査分析するIR機能の強化による迅速かつ多面的な角度から意思決定ができる経営体制を構築する
- ・非公務員型による弾力的人事システムを構築する
- ・学生・保護者・市民など幅広い層からの提言・要望を聴取し大学運営に反映させる

2. 経営基盤の強化による安定した大学運営の実施

- ・学生の確保、外部資金の獲得などにより財源を確保し、経営基盤の安定化に取り組む
- ・市民や学生に説明責任を果たせる支出構造の改革をめざす
- ・教職員の資質向上のため、教職協働のSD活動を活性化し、相互研鑽と自己啓発により自ら成長する教職員の育成に取り組む
- ・長野大学基金「長野大学未来創造基金」を設立し広く寄付を募り、安定した大学運営に活かす

3. 時代や社会の未来を見据えた教育研究組織の見直し

- ・現行の「社会科学系」領域に加え、「理工系領域」「文理融合」など魅力ある学部、学科および研究所、大学院の設置について検討し実現をめざす

4. 活力ある「知の拠点」にふさわしい大学環境の実現

- ・アメニティーの向上とユニバーサルデザインにもとづくキャンパスづくりを行う
- ・学部、学科の改編および研究所、大学院の設置等将来構想を視野に入れたキャンパスマスタープランを策定し実行する
- ・防災、防犯を考慮した安全なキャンパスの整備に努める
- ・環境・エネルギーに配慮したエコキャンパスを構築する
- ・地域に開放し、連携・交流の場として活用できるキャンパスとして整備する

5. UI（ユニバーシティ・アイデンティティ）戦略の展開

- ・大学ビジョンを可視化するために、シンボルマーク等を策定する
- ・HP、大学パンフレット等の多様な広報媒体を活用し、様々な関係者に向けた積極的かつ戦略的な広報活動を展開する
- ・説明責任を果たし、透明性を確保するための情報公開を積極的に行う
- ・教育・研究情報の発信等のため、情報基盤の整備を行う
- ・本学に関わる多くの団体、企業、個人等、大学サポーターの輪を広げる活動を行う

